JUMP COMICS
猫は吉良吉影が好きの巻
ジョジョの奇妙な冒険
42
JOJO JOJO
荒木飛呂彦

JUMP COMICS

ジョジョの奇妙な冒険

第42巻

猫は吉良吉影が好きの巻

荒木飛呂彦

ジョースター家のルーツ
1880
ダリオ・ブランドー
ジョージ・ジョースターI世
(英国貴族領主)
メアリー
殺害
殺害
ジョナサン
エリナ
ディオ
殺害
(波紋を修業)
(考古学者)
1900
間接的に殺害
ジョージ・II世
(波紋力なし)
(空軍パイロット)
1920
リサリサ
(エリザベス)
(波紋を修業)
(1889)
1940
ジョセフ
(ニューヨークの不動産王)
(波紋を修業)
スージーQ
(イタリア人)
空条貞夫
(日本人ミュージシャン)
ホリィ
空条 承太郎
1970
(現在のジョセフ)
(波紋の修業はないが自らのスタンドをもつ)
スタンド:『星の白金』
(1989)
(ディオ 承太郎の手によって倒される)
(日本人・教師)
1990
虹村億泰
スタンド:『ザ・ハンド』
東方朋子
東方仗助
(高校1年生)
スタンド:「クレイジー・ダイヤモンド」

空条承太郎

守護霊にも似た超能力、スタンドを持つ。ディオを倒したのち、海洋冒険家として名を成す。

東方仗助

杜王町の高校1年生。髪形のことをけなされるとプッツンくる直情型。血縁上は承太郎の「叔父」にあたる。

支倉未起隆

自称「宇宙人」。
スタンド：
『？』

吉良吉影

凶悪殺人鬼。
スタンド：
『キラークィーン』

前巻までのあらすじ

これは一世紀以上にわたるディオとジョースター家の因縁の物語である……

現代の日本——ジョセフ・ジョースターの孫、空条承太郎（ジョジョ）はスタンドと呼ばれる超能力を持っていた。その影響により倒れた母を救うため、その元凶、ディオを倒すため、ジョジョと仲間たちはディオのいるエジプトに向かった……仲間を次つぎに失いつつも承太郎はディオを倒した……

＊ ＊

一九九九年の日本。地方都市、S市杜王町では、ディオの能力を引き出した「弓と矢」によって、スタンド使いが増やされていた!! 殺人鬼、吉良吉影は姿を変え、杜王町に潜伏していた……。謎の少年の変身能力を悪用して、岸辺露伴をイカサマ賭博に引きこんだ仗助だったが見事に失敗 そして露伴と仗助を新スタンド「ハイウェイ・スター」が襲う!!

ジョジョの奇妙な冒険

JoJo 第42巻

猫は吉良吉影が好きの巻

もくじ

ハイウェイ・スター

その⑦

5F
4F
3F
2F
1F
5F
4F
外科病棟
すみません！お尋ねしたいんですけど
二日前「杜王トンネル」でバイク事故を起こして運び込まれた……
あの……
えと……
……「少年」……
の「病室」が知りたいんですけど……
何号室ですか？
……
……
あのー とても急いでるんです！

あなたね……………
そこに書いてあるのが見えないの？
え
眼科の診察が必要なら明日 朝九時半からよ いらしたら？
本日面会は終了いたしました
あ…あの…… 別にお見舞いじゃあなくて
理由あって知りたいだけなんです！ 理由ってのは ちょっとムズかしい理由なんですけど
あなたご家族？
えっ！
それ…は…
あ〜〜ら違うみたいねェ〜〜〜〜っ
ご家族以外にはお教えできません お帰りください
とても必要な事なんですッ！
お願いです教えてください
帰りなさいってのが聞こえないの？
耳の診察が必要ならそのエレベーターを二階よ！
あんたらみたいなクダらないガキどもはね〜〜〜〜っ 迷惑なのよ……
あんた暴走族にしちゃあずいぶんチビねー バイク足届くの？
……

……

……

『ACT3（アクトスリー）』！
ズキュ
OK! MASTER
LET'S KILL DA HO!
BEEETCH!

…………
ズズズ……
ズズズ…
ズズッ
はっ！
あっ
グラッ
ガッ
あぶないッ！

フウ〜〜ッ
冷や汗かいたわ
この一本5万円もするんだもの
ゴゴゴ
うわっ
あっ
あっ
お……重い……!?
スッ
えッ!?
ちょ…ちょっとあんた!
て手伝って!これ、崩れそうなの支えてちょうだい!
ゴゴゴ
ズズーン
あっ
あっ
お…重くなる!崩れるわっ!!

・・・・・・・・・・
あの〜〜〜 ひょっとして ぼくを 呼んだんですか？
「ちょっとあんた」って ぼくの事？
そうよッ！ あんたしか いないでしょッ！
なんだか知らないけど これすごく 重いのよッ！
早く支えてよッ！
ズ
そ〜〜〜 言われてもなぁ〜〜〜っ
今… 「帰れ」って 言われちゃったからなぁ〜〜〜っ
やっぱり 帰らなくっちゃぁ ぼくぅ〜〜〜っ
それに チビだから そこまで 届かないから…
・・・・・・・・・
それ全部 落として割っちゃったら あなた… 上の人に 叱られちゃったり するわけですか？
わかったわよッ！ 教えるわよ!!
525号室よッ

筋くん!
康一……

わかったかッ 康一!?
525号室!
名前は噴上裕也!! 525号室だよッ!

でも五階なんだッ！
この病院の五階上なんだよ！登らなくっちゃあいけないんだ！
早くエレベーターに乗ってッ！

閉
ドラアアッ！

ガッ
ドオォォーン
!!

や…やべェ〜〜

い…一匹だけはさんじまった…す…すき間から

ど…どんどん入られるぞッ！

ピク
ピク
！
康一！『エコーズACT3』
おめ――っ本当に頼りになる男だぜ
助かったよ！礼を言うぜ康一！

で…でも
「ACT3の3FREEZEは一撃一か所しか攻撃できない!
残りのヤツは仗助くんを追っていくッ!

チン

523~533

523~533

あそこだッ！
525号室！

てめーっ

いるなッ！
ついに
やって来たぜッ！

うおおおおおおおおおおおおおおおおおおお
換気孔!!

てめーっ 射程まで
たかが数メートル！
こんな距離
めんどくせ――っ
突っ切って
ブチのめすっ！
ドララララ
ラララララ
ラララララ

ぜって〜〜 そこまで行く…
ぜって〜〜 そこまで行って
てめ〜〜を… てめ〜〜を
野郎〜〜ッ

ぶちのめして……
ぜーぜー
…………
何だ!? このガキはッ——よォ——ッ
ここは裕ちゃんの部屋なんだよォーッ! てめーの病室間違えてんじゃあねー——ッ ボケエーッ
ほっとけ…… そんな野郎は……
それより オレ… だんだん回復して来たようだからよ〜〜〜っ
果物でもむいて食べさせてちょうだいよ〜〜っ 桃がいいなあ〜 アーンとね。
ぜって〜〜〜 行く…
ぜって〜〜 そこ…… まで…

ハイウェイ・スター
その⑧
ぜ～～っ
て～～～に
そこ…
まで
行って…
やる……

大丈夫かよ〜〜〜
ゴゴゴゴゴゴ
最初の一人目の「獲物」をトンネルの中でいただいてから
ずいぶんと時間が経っと思ったがな
おまえが追跡していた二人目の野郎か
どうやってこの病院・俺がいるのかわかったのか知らねーがよくここまでたどりつけたな
ちょっとたまげたぜぇ〜〜っ
ちゃんこいつの事知ってるの〜?

ぜハぜハ
エーエー
ぐっ…
ううう
いや ぜんぜん知らねーっ!
興味もねーっ

やっこさ～～っ
「ハイウエイ・スター」

コラアーッ
そんなとこ ブッ倒れてんじゃあ ねーっつってるだろォーがァーッ
オメーらこそッ! そいつあーッ! ほっとけって さっき言っただろーがッ!
それより よォ〜
こっち来て 俺の事 かまってくれよ〜〜
けっこう 元気に なっては 来たが
桃 食わしてくれ たのさあ〜 それに なんか 小便 したくてよォ〜 イッパイたまってん だよ〜〜ッ
きゃあ ーーっ♡
それは わたしの 役目だわッ!
何言ってん だよッ! それは みんなで 順番でやるって 約束だろッ こんとは あたしの 番よーっ
え〃 あたしよ あたしッ!
おい アケミ!
その桃は 腐ってるぜ
え?
別のヤツを むいてくれ
やかましい なー…っ 黙ってていいから よォー 早くシビン持って来て させてくれよォ ー!

……
なんで臭ってるってわかるの？
なんでってわかるだろ？臭ってる臭いがするぜ！

そんな距離から？
……………

そういやそうだな……〃
クンクン
おれ・急に鼻がよくなったようだなよくわかるんだよ臭ってるってな
あ本当だ臭ってるこの様…
「能力」のせいか
クンクン

フフ……
よーくわかるぜ…クンクン

フフフどんな臭いかは説明はしねーがよーっオメーら三人の中で……
今…「生理中」のヤツがいるだろ？違うか？いるよな？「生理」！
ドキ
え！
おいおい
オレエおめーか！図星だったな

それからよ
誰か
「怒ってる」ヤツも
いるな
……?

「アドレナリン」てやつの
臭いがプンプンするぜ!
怒って興奮すると
体内で分泌される
「アドレナリン」だよ

何
怒ってん
だよ?

レイコ
おめーか?

え?

あたし
別に
怒ってなんか
いないわよ

なんで
怒るわけが
あるのよォー
――ッ

?
?

あたしたち
裕ちゃんが
元気になったから
とっても
ウレしくってェッ!

そうよ!
とってもハッピーよッ!
誰も怒るわけが
ないじゃないの
〜〜〜〜〜ッ!!

おいおい
おかしいぜェ
〜〜〜〜ッ

誰か
怒ってる
ハズだよ――っ

おもいっきり
怒ってる臭いが
スゲー プンプン
してんだからよー
ウソ言うなよ〜
〜〜〜〜ッ

誰だ!?
怒ってんのは
よォ――!?

あっ!

ゴゴゴ

ゴゴゴ

俺だ……!

おもいっきり「アトレナーン」がブンブンしてんのはよォ〜〜〜‥
!?

な…何だ——ッ!?
バカなッ!! てめエ——ッ 何で立ち上がれたんだ!?
てめーを下からひきさせたはずなのにッ!
何で立ち上がれんだ——ッ!!
理由は
あっ!?

てめー 俺の
訓練用の
点滴を飲んだのかッ
!
あれは たしか
ブドウ糖と
ビタミン栄養剤
!
ほんの
ちょっぴり
だが
栄養補給
させてもらったぜ
!
ズズズ
ゴクゴク
ゴクゴク
ズズッ

「トンネル」の中に
捕まえてるヤツを
解放しろ…
バカめッ!
「ハイウェイ・スター」は
まだ てめーの臭いを
記憶しているぜ――ッ

うげあ
あーーッ
てめーらは
おとなしく
してろーッ

オレの名は 東方仗助… 「スタンド」の名は 「クレイジーD」
射程距離は 短いが・ パンチの速度は… 時速60㌔なんて 出るスピードしゃねえん だぜ・・・
計ったこたあ ねーがよォ――
もっと近づけば 時速㌔は出るぜ！
オレに近寄るなコラ！
お おいコラ、待て！ てめー それ以上
お お おれはよォー
まだ・背骨は 折れてるし・ 手足も折れてて 寝返りも うてねー 負傷者なんだぜェ――ッ
そんな情けねえ オレを しかに 痛めつけるって いうのかよ！
わかった！ 悪かったよ トンネルの中のヤツか 解放するよ
まだ 生きてると思う 栄養補給すれば 助かると思うぜ！
だけどよ オレが 逃がしてやるから ヤツは助かるんだぜ
トンネルのヤツを 人質にとってこのまま おまえをおとす事も できるんだが それはしねえ…

「人質」にとっても……無駄だぜ
だから しねーって 言ってるじゃあ ねーか!
オレは 重症なんだぜ~ 腹のガーゼとって グチョグチョのキズ みせよーか?
まさか こんなケガ人を ブチのめすなんて事は しねえ~~よな… そんな卑怯な事は しねーよな… それは男のやる事じゃあ ねーよな
そうだ! 卑怯だぞ ーーッ
う~~む
なるほどな たしかに ケガ人を ブチのめすなんて あと味の悪い事だ とっても男らしくねー 事だな
心の痛む 事だ…
そ… そーだろ?
こんなオレを ブチのめしたら イヤ~な気分が ずっと 残るぜ~~ェ
……だと 思ってよ
おめーを すでに 治しといた・・
え!?
えっ
え!?

動けるかい?
パッ
パッ
動けるだろ?
ケガはすっかり治っただろ?
パッ
な…?
治って…
いる……
!?
パッ
パッ
……
これでぜんぜん卑怯しゃあねーわけだな〜〜〜っ

うわああああああああああああああああああ
ドラララララララララララララララララララララララララ

あぎゅう
うう——っ

噴上裕也　ぶどうヶ丘病院にそのまま入院続行
「もし再びハイウェイ・スターを使って負傷の回復を図ろうとしたら何度でもノチのめす」と仗助に念を押される。しかし、とり巻きの女の子に看護してもらってその点は うらやましいヤツ、

岸辺露伴　このあと「トンネル」から救出され、仗助は熱い友情を期待したが、「逃げろ」という忠告を無視した仗助に対し怒っており、貸し借りはないとし、仗助とはやっぱり仲が悪い。

広瀬康一――この後、犬の散歩に行った。

TO BE CONTINUED…

猫は吉良吉影が好き その①

きゃあああああああああ
ああああああーッ！
あなたッ！
あなたッ！
地下室にッ！

アーンッ！

あなたッ！
地下牢で
恐ろしい目がッ！

ああ〜〜ん！
あなた！
あたし本当に
恐ろしかったのよッ！
死ぬほど
恐ろしかったわ！！

部屋の隅の
ジャガイモ袋の上に
見知らぬ一匹の猫が
いるのよ

じっと
うずくまって
いるの……

「猫」……
？

そう
でも この近所では
ぜんぜん見かけない
猫だったわ
あたし
猫好きでしょ
「あ…この猫
ブリティッシュ・ブルー猫だ」
って思ったの．
ブリティッシュ ブルー猫は
世界中の
猫好きの間では
人気NO・1なのよ
このブルーグレーの色の猫は
ロシアでは 幸運の前兆とされ
昔のロシア皇帝は
とても大切にしたの
性格はチャーミングで活発
とても 愛情深いのよ…
そして
あたし……

どっから入って来たの？ ネコちゃん…

……と近づこうとしたの そしたら……

やだ 警戒してるわ

あっ 猫に好かれる性質なのよ

そっか 猫って顔を見つめると 敵だと感じるから 視線をはずして近づけば 大丈夫なんだっけ

タシッ

カワイーちゃんねー♪ あたし やさしいのよ〜 ちっとも怖くないわよ〜〜っ

シュキィィーー

警戒態勢をとったわ！ やだ！ これ以上近づいたら 暴れるかも

…で…… 二歩 後ろに 下がると

ズリ

ズ

あ？
あそこの窓が
開いてる……
あそこから
入ったんだわ
でも いつまでも地下室にいられるのは
困るわ ……ジャガイモの袋に
オシッコするかもしれないし
ノミだって いるかもしれない
何とか仲よくなって
連れ出さないと

…………
シャキィーン
シャカ
シャカ
シャカ
ポン
あっ 自分ん家みたいにくつろいでるわ! 何かこの猫 だんだんムカついて来たわ… じょうだんじゃあないわ!!
で…『タワシ』があったから それをぶつけて追い出す事にしたの
あたし…何やってるのかしら あの猫「ここは自分ん家だぞっ 出てきな」って態度を とってるのよ…… 何で あたし 猫の機嫌とらなくちゃあいけないの?
出てかないと これ ぶつけるわよ!
いい! 投げるわよ!

丸めたハナクソ
指で飛ばすみたいに
シッポで 軽く
はらい落とすと

ジャガイモの
袋の上で
ゴロゴロ
くつろいでいるのよ

あたし
きれちゃった
わ!

ガ…

ガ…

……!

まるで「虫」みたいに
天井に
ひっついたのよ!

そ…

そして
あたしが本当に
ゾッとしたのは その後なの
よく見ると その「顔」
喉のところに……

ポッカリ「穴」が
開いていたわ!
一円玉ぐらいの
大きさの「穴」がッ!

「穴」
あたし もう
中で
ホウキふり　して
てきたわ!
ガシャ
ガシャ
ガシャ

ゴゴゴゴ
ゴゴゴゴゴゴゴゴ!
ゴ!
ドン!

ねえ?
もう いないよ?
いや…
フー
死んでるよ!
え?
?

割れたビンが
偶然
突き刺さって
しまったようだな

ガラスの
破片が喉を
ザックリ
切っている

ちょっ…

ちょっと
待ってよッ！

そんな まさか！
あたし「ホウキ」で！
ただ「ホウキ」を
振り回しただけ
なのよッ！

な…
何かの間違いよッ！
死んだなんて
そんなバカな

わかってる！
これは事故だ！
偶然の事故だ

誰のせいでも
ない…
運が悪かった
だけなのさ

そんな
バカなッ！

あっ ああっ
！

あたし！
そんなつもりじゃあ

あっ

ああああっ

わかってる
落ちつくんだ
……

君は悪くない

誰も
悪くない

どこの猫か
知らないが…
庭に埋めてやろう
ぼくがやるよ

あああ
あああ
ザッアアア
いや
きっと
「スタンド使い」ではなかったのだな
あれじゃあ
「スタンド使い」か
どうか
わからないな

ニャっっーォ

彼は思った…
二日ほど前 彼は
ものすごくヒマだったので
木登りしてたら
誰かに「矢」で攻撃された

それは「無事」
だったんだけど
この家に 引き寄せ
られるように
地下室に入ったら
雨が降ってきた

猫は吉良吉影が好き その②

猫は吉良吉影が好き その②

あれ？
ウ
なんか 青くさいな
？
でも まぁいいや いまを なめよォっと！

ニャッ!?
ニャニャ!?
!!
キョロ
キョロ
おかしいな!?「シッポ」は・どこだ!?
大切な「シッポ」はどうしたんだ!?
『顔の次は「しっぽの毛」を歯でハグハグ噛んでやわらかくしてからベロできれいに整えるのがすごく好きなのに
オ、
オ??
「シッポ」がないぞッ! どこへ行ったんだ!?」
ブーーン
ム!
ブーン
ニャッ

うげっ

うちの人

この庭のどこに「埋めた」のかしら
あの辺かしら……
い……いいえ
知らない方がいいわ
あんな事になるなんて 思い出すと とても 心が痛むもの

お庭に お花 添えるわね
安らかに眠ってね
「この人間の女
どこかで見た事があるぞ
ヒュー
カサ カサ
誰!? そこに何かいるの!?
パシィ

ウニャン

おかしいわ

何もいない……

今…何かいると思ったのに

それに……

何かに見つめられているような気がするのはなぜかしら？

何かの視線を感じるわ

ホウキ!?」
「ホウキ!!
そうだ 思い出したぞ!!
誰なのか
思い出したぞ……」
「ホウキ」

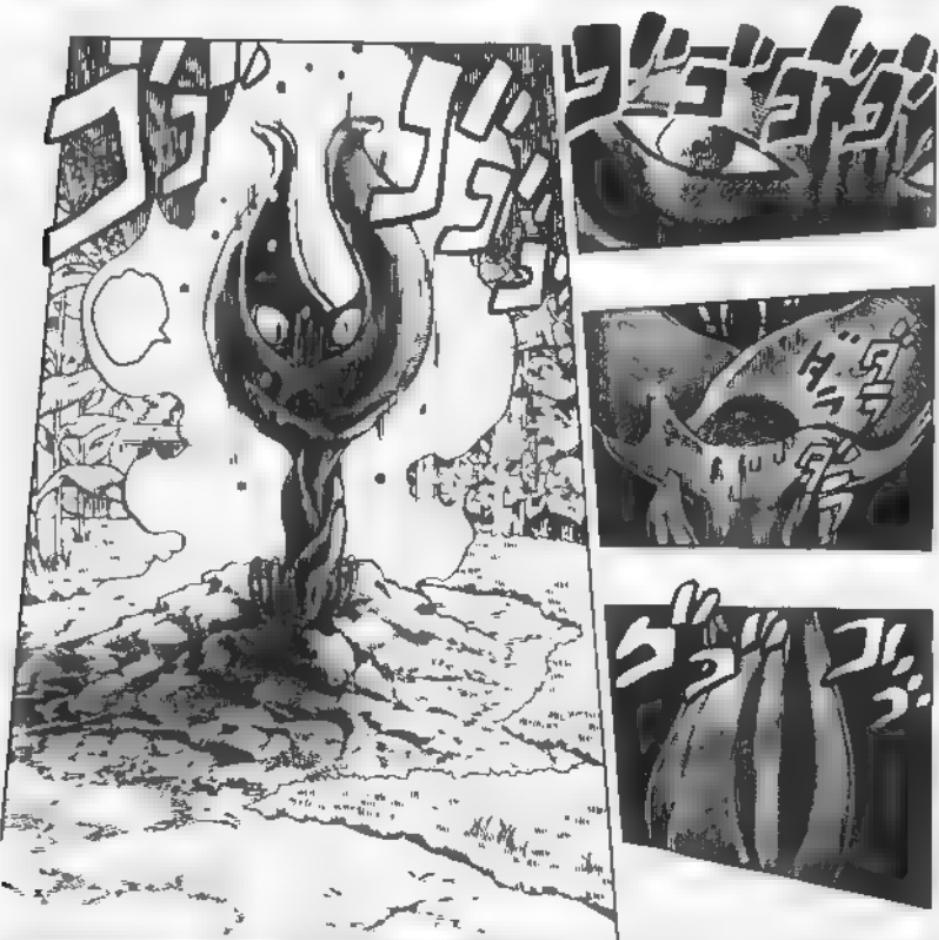
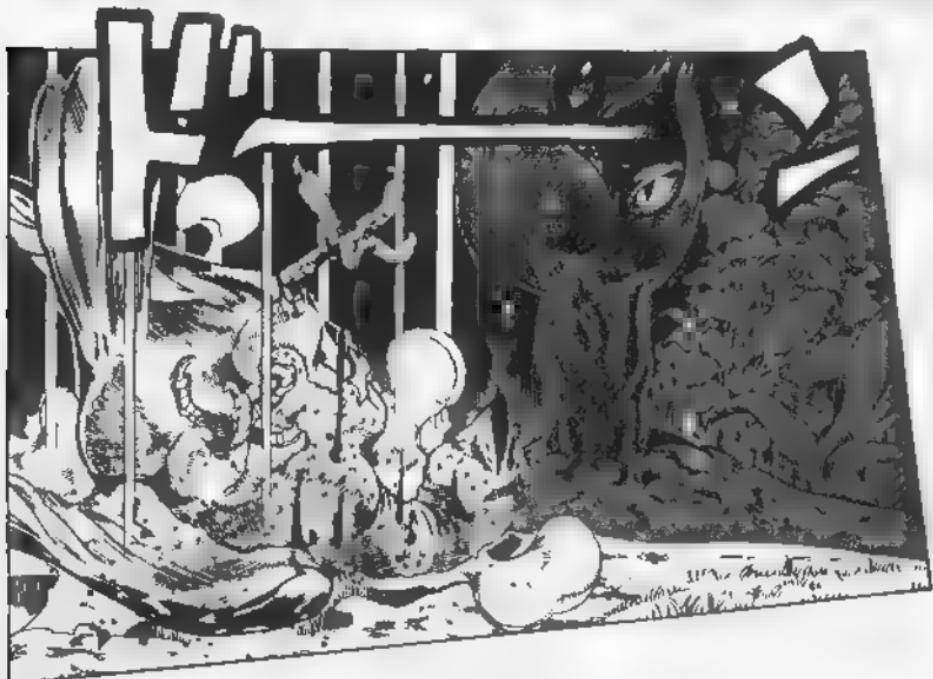
『この女！このオレをホウキでブン殴ろうとしたんだッ！』
『何もしていないこのオレに向かって「ホウキ」をふり下ろした女だッ！』
メラメラ
「そうだ！ そして その後 オレは動けなくなって 体にガラスがいっぱい突きささって 動けなくなったんだッ 血もいっぱい出たッ」
「今 オレがこんなメに遭ってるのは この女のせいだッ！ この女め…！ 入賞たと思って イイ気になりやがってッ！」
メラメラメラメラ
メラメラ

フガァーーッ
え!?
ベシッ!

きゃあああああ
あああああ——っ

なんだ!? なんだ なんだ なんだ なんだ なんだ なんだ……!?
オレ 今 いったい 何をして どうなったんだ!? この女の足の爪をはがして ふき飛ばしたぞ 今 オレ どうやったんだ?
爪がッ!
あたしの足の指の爪がッ!?
なんなの!?
どうして!? ま…まわりに 指を ひっかける物なんか 何もないのにッ!
「たたり」……!!

ま…まさかッ!
た…「たたり」!? あの猫…の!
あ…あなた――ッ
そ そんな!!
ひ…ひイイイイイイイーッ

チチチチ
チチ
チチチチ

彼は「欲望と本能」で生きていたので この「能力」の「正体と使い道」は直感で理解していた

「この「能力」は すごく便利だぞ」
「でもあの女に対する「怒り」はまだまだおさまっちゃあいないぜ
食事した後 また「殺る」とするか」
そう思った…

こいつ……

!

「スタンド使い」
ゴゴゴゴ
ゴゴ
昨日「猫」を埋めた場所になぜ こんなのがいるんだ!?
ムシャ
ムシャ
こいつは一体なんなのだ!?

今……こいつ
スズメに何を
したのだ？
「スタンド」自体は
見えなかったぞ
どういう「能力」で彼女の
足の爪をひっぱがし
今…スズメを殺したのだ？
一体 こいつの秘密は
……？

生長している！
なんなのだ!?
こいつの能力の正体は
そして……!?
なぜ「スタンド使い」が
わたしのところに!?

猫は吉良吉影が好き

その③

こいつが
『敵かどうか』
という事だ
……

大事をとって
「殺しとく」か
……

こいつの
「スタンドの謎」も
問題だが…

こいつはわたしにとって
「害ある敵」なのか？
それとも
ただの「偶然の出会い」に
すぎないのか？

……とは言え
こいつの「正体」は何なのだ？という疑問もある
殺すのは簡単だ……少し調べてみてもいいかもしれない……
プシッ
プシ!
プシッ

ス…

何も持ってないのに手をさし出されただけで
つい だまされて臭いを嗅ぎに来るというところもまるで「■」だ

そこに
不意打ちでタバコをかがせてみるッ！

ギニャ

ブギャ
…………
うーむ
タバコの臭いにもだえるところも「」のようだ
そして 確か一 鼻で臭いをかぎ 耳で「音」を聞いていると いう事がわかった
ガシン!
ガシン!

どれ・なでてみてもよさそうだ

ゴロゴロ
ゴロゴロ

スースーー

しかし 本当に わたしに「」がないのかどーか まだわからないぞ
確かめてみよう

そお〜〜っ

そして こいつは
ここに埋めた

あ……
あなた？

「彼女ッ」！
ン？
ン？
!?
あの「■」を埋めたの…
そ　その場所
何か怖いわ
その場所なのね？庭のそこにあの「■」を埋めたのね…
あたしが「星の爪」をはがしたのもその場所だったわ
ザッ
ザッ
ザッ

!?
!?
この猫 彼女を『憎んでいる』から攻撃したのかッ！
するとなると！彼女が また ここに来るのはまずい！非常にまずいッ！
!!

なんでしょう？
すごく
埋まっていない
家の中に戻っていなさい
……この場所に……

やはり
この、
わたしにとって
まだ どんな「スタンド

「小石」を
に変えた
!!
カワイソーだがっ
これでこいつを
何…
何?
何か
聞いてるの?
あなたの
何かいるの
?
?

「キラークイーン」第一の爆弾スイッチ！
ON！
カチッ
シャアアーーッ
何!!
!?
え？
爆発しない

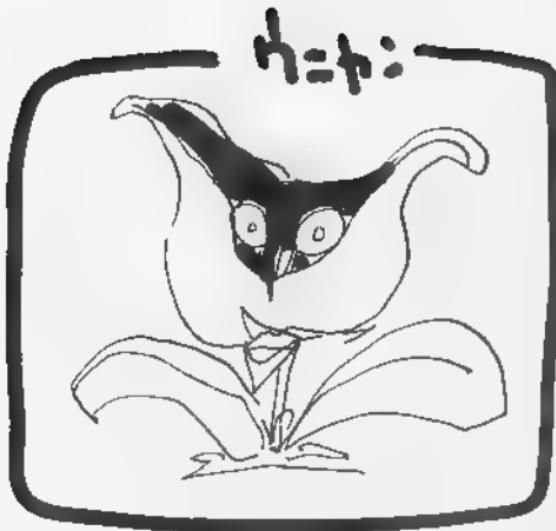
何？
それ「」？
？
そ…その「植物」動いてるわ！
バカなッ！
キラークイーンに
不発弾はありえない
なぜ　しない
まさかッ！　こいつ「ヒ」
こいつの「　力」のせいか”
こいつが
「　力」で爆発
させないのかッ

家の中に
ってるとった
はずだぞ/
え…

ア゛

しのぶッ！

ギャース！

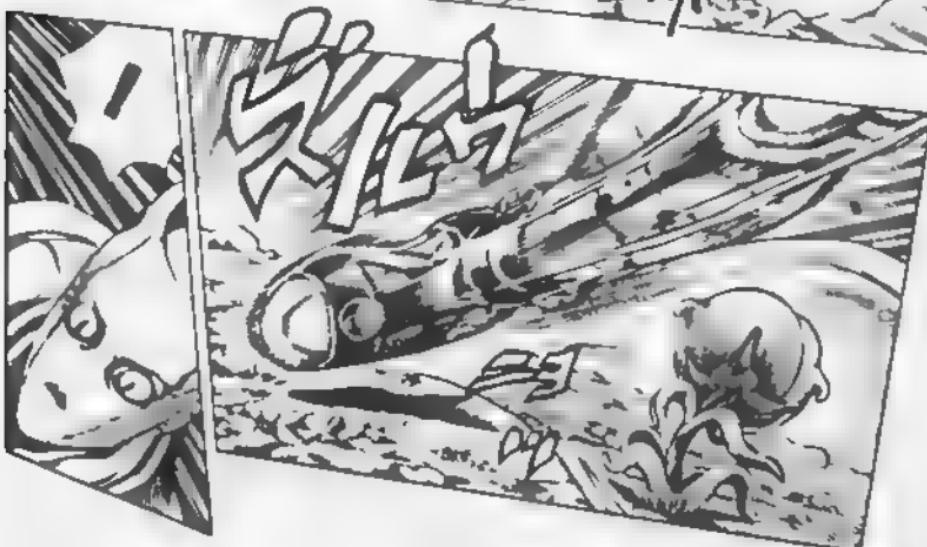
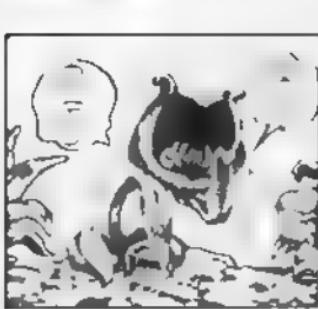
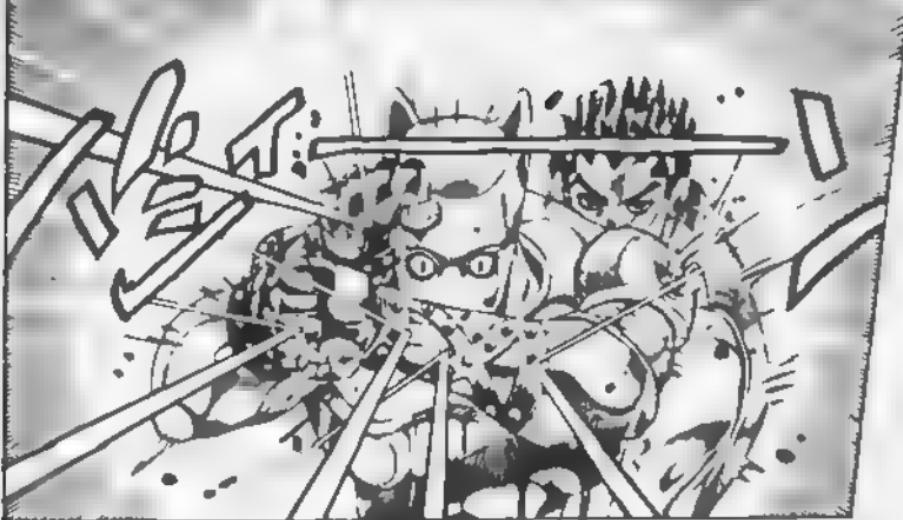
ドン

「キラークイーン」の「爆弾」がこいつから離れたとたん爆発した!

まさか……こいつの「能力」はッ……!!

ズン

ドドドドド
これ以上
彼女を
攻撃させる
わけにはいかない
きさまには……
消えてもらう

昨日まで猫だった植物は思った……
『あの女は殺すッ！それをじゃまするこの男も敵だッ！』
『じゃまするなら殺すッ！』──そう思った！
ゴゴゴゴ
猫は吉良吉影が好き その④

そしてどういう『殺し方』をすべきか…
この『植物』はすでに『本能』で理解していた
爆発が起こらないのは『空気』が爆弾のまわりにないときだけ！
まさかこいつの見えない『能力』とはッ！
『キラークイーン』の爆弾が爆発しなかったのはたったひとつの理由しかないッ！

こいつの「スタンド能力」は
「空気を
自由に操作する」
能力なのではッ！

来たッ！
見えないが
また
何か
出したッ！
「キラークイーン」!!
ムウ!!
やはり
出しているッ！
「空気」だッ！
「空気」を固めて
出している！

このクソ猫
ぶっつぶしてやるッ！
ミャオ・・・

ダミオ
ダミダミオ
何か見えないゴム風船のようなものを掴んでいるッ！
「爆弾」がこいつに触れられないッ！
ダシオ
ダシオ
やはりこいつ「空気」を操作しているスタンド能力
「キラークイーン」の爆弾は！まわりの「空気」を取り除いたから爆発しなかったのだ！
！

何ッ!
うぐうっ!
こ…こいつ!
フワ
フワ
フワ

!!
!?
ゴゴ
ゴゴゴゴ
!?
キョロ
キョロ
!?
ゴゴ
ゴゴ
こいつ……
また何か
出したぞ!
見えない……
見えないが
また きっと
やばい……
何か……
やばい!!
ゴゴゴ

何ッ！
サボテンをッ！

し…
しのぶッ!
彼女の
サボテンのトゲが
さら
事に…
今…
としたのか
気持ち

このわたしが
もう

いくら見えない「能力」だろうが……
「能力」がわかった今……
!
!?
ゴボ
ゴボ
しょせん たかが
空気を固めて
飛ばしたり
散らせたりする
「能力」。
もう この
「キラークイーン」に
勝てない敵ではない
ゴボ
ゴボ
ゴボ

何ッ!?
こ…こいつ!
今の攻撃でわたしの腕の血管の中にッ!
計算でこんな攻撃をしたというのか!?
それとも『本能』でやったというのかッ!

「血管」の中に空気の固まりを入れやがったッ！
ゴボゴボゴボ
ゴボ
バババ
バリバリバリバリ

どんどん「体」のなかに登ってくるぞッ！
ドドドドドド

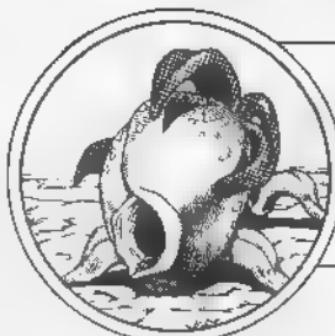
しまったッ！
指で血管をおさえてもどんどん登ってくるッ！止める事はできないッ！
だめだッ！
まずいッ！胴体に入ってしまうッ！
ゴボ…
ギャンーー！！
やるしかない…
あれをやるしかないッ！

「キラークイーン」
うぬううう

ボワン
ボワン
甘く見ていた
「キラークイーン」の
近づく事もできない…
来るッ！
また
攻撃が
来るぞ！

どうするッ
!
ギャギャギャーン
危なかった……
とりあえず……これでいいとするか……これで…
この場はおさまる……
落ちていたボールにじゃれつかしていれば…
彼女への恨みは不安だがこれでいいとしよう……
TO BE CONTINUED

猫は吉良吉影が好き
その⑤
「猫の死体」は
どこか遠くへ
埋めてきたと……
昨日
あの人は
言った

ドン!
昔 猫だった植物の図鑑
スタンド名—「ストレイ・キャット」
(吉良が命名・味方とする)
脳—きっと このへんに ある
耳—コチョコチョやると ブルルンとむずがゆがる
髭—もともと猫の髭のように長かったが 今はぜんぜんない
目—ギョロギョロ動くが 猫とちがって 夜はあまり 物が見えない 見つめられるのは嫌い
鼻—ここから息を吸い 臭いもかいでいるので ふさがれると苦しむ
背骨—背骨とかの骨格のようなものはいっさいないが 首のところをなでると不気味なゴロゴロ音が出る しかし 食べ物は消化液が出ていて 腹をこわした時はゲロをはく
ここの葉—昔しっぽであった事を 覚えていて 考え事をする時 ゆっくり左右にふるくせがある
血液—なし
臭い—青くさー
根—体をささえているだけのもの ここからは土の栄養分や水などを吸ったりしない が ウンコはこの根毛から土の中に自然に出てゆく その肥えた土は虫などをおびきよせ それをつかまえてヒマつぶしに遊んだりする (ヒマでないときがあるのか?

猫は吉良吉影が好き その⑤

ヒゲ—ここで空気を操作する
空気のかたまりを発射する時は
左図のようになって攻撃する

口—「シニャンニャ」
「ミャオ」「フガ　」とか鳴く
水や食べ物はここから食べる
ベロもある

爪—なし

『ストレイ・キャッツ』の空気操作パワーは光合成によるものです

2万ルクス(雨の日ぐらいの明るさ)
以上の光があれば光合成ができる
葉緑素を持っていて エネルギーを
作り出す事ができ 光合成による
呼吸で空気も操作できる
陽差しが強ければ強いほど
空気操作パワーも強いが 逆に夜や
暗闇ではパワーが弱く
つまり 光をあてなければ
すごくおとなしくなり
寝てしまう事を
吉良吉影は発見した

葉—物をつかむ事ができる
動いているものに
つい とびかかってしまう

葉緑素の細胞
木部
葉脈
気孔

空気操作射程距離—
目で見えるところなら
どこまでも

好物—
トロ 甘エビ
紙袋に頭を入れる事
TVをみる事 ほめられる事
嫌いなもの—
タバコ ワサビ ミカン
寒いところ 川尻しのぶ
繁殖? SEX?
寿命?
冬眠え ほとんど眠って過ごすが
コタツの中は大好きで
活発になる

ドキ
ドキ
ドキ
でも…
ドキ
ドキ
ドキ

どう？
おいしい？

バタム
パタパタ

早人ったら！ また 行って来ますも 言わないで 出かけてったわ

チラリ

彼…
いや
早人は……
いつも夜遅くまで起きてるようだが自分の部屋で……
何をしているんだ？
どーせファミコンとかオタク系の遊びでしょ…
学校の成績下がってるわけじゃあないからあたし何も言わない事にしてるけど
あたしもあの子が何考えてるのかわからないわ・友だちがいるのかどーかも何に興味持っているのかもぜんぜんわからないわ
あら！
あなた！それ違う皿よ！
それはあたしの皿！
？

……

もう半分以上食べてるじゃない！

……

うふっ
でもうれしいわ…

あたしの料理をムシャムシャ食べてくれて…食わず嫌いだって気がついたのね？

……

……

それじゃあ……
行ってくる
行ってらっしゃい
……あなた
スッ
あっ
ん〜〜♡
!

お出かけのチューをしてほしかったの――
でもあの人と絶対気持ちが通じているわ
近いうち絶対誘惑してみせるわ…

うちの・・・パパ・・・・・・
今クツベラを使って靴をはいたぞ
きっと25.5センチの方の靴をはいて行ったんだ
今まで パパの靴のサイズなんて気にした事なかったけど
うちに二種類のサイズの靴があるのはおかしい・・・
それに・・・・・・
最近ママとパパが何か仲がいいのもおかしいし・・・
朝食で嫌いな椎茸も平気でムシャムシャ食べていた・・・
何か・・・
何かおかしいぞ・・・・・・
スッ
うちのパパ・・・・・・
ピッ

これも
なぜ
自分の名前を何度も何度も書いているのだろう!?
そして昨日の夜だ…
ピッ

何度見ても 植木鉢に入ってる 「土」だ
CAT FOOD
そして 衣裳部屋の中に 入っていく…

最近のうちのパパ・・・
絶対におかしい・・・
調べ・る・んだ

パパとママの寝室のクローゼットの中を調べてみるんだ

……
何か胸騒ぎがする
あの小僧…何かおかしいぞ
帽子
玄関のコートかけ
早人の帽子
早人はすでに登校したが玄関にスニーカーはなかったしランドセルもなかった
しかし
帽子があったのは妙だな 忘れて行ったのか？
まさか……
朝 わたしを見つめていたのも椎茸を食べるのを見ていたのか…
…

植木鉢は……
どこだ?
けっこう大きいもの
だった
見あたらないぞ
この倉庫に
あの大きさは
入らないし

ひょっとして・・・
屋根裏…か…?
クローゼットの天井からは階段が下りてきて屋根裏部屋に行けるんだった
何かいやな予感がする……

スー
スースー
植木師が
な 何だ？ あれは？

仮に誰かが……
屋根裏部屋に行ったところで「ストレイ・キャット」は太陽光のないところではただの しなびた植物に見える……
ゴゴゴゴ
気づくはずはない…
しかし 今朝の「隼人」の行動は何か嫌な胸騒ぎがする……
わたしの事を疑っているのか… まさか 今 屋根裏に あの「小僧」が…!?
猫は吉良吉影が好き その⑥

猫は吉良吉影が好き
その⑥

あったぞ……
あの旗だ……
!?
パァアアアア
ギュム
え？
ゲボォォォォォ

な…何だ!?…
窓を開けたとたん 起き上がったぞ…
植物が こんな スピードで 動くのか?
ギョロ
何だ これは…?
なんなんだ この生き物は…
植物じゃあないぞ…
「眼」だ… 「目玉」があって こっちを見ているぞ!
…なっ
な…何で こいつは こんな物を 飼っているんだ!?

あら あなた！
どうしたの？ 忘れ物？
取って来ましょうか？
いや……
いい…自分で取りに行く…
ある場所は……
トッ
トン
わかっている…
!!
パパが帰って来てるぞ………!!
何で戻って来たんだ………!?
い…今 一階の階段の下あたりにいる！

まずいッ！
息を止めて ここを去らなくてはッ！

え!?
ビシ!!
キャ
ビシィ
キャ

ギョン!
ギョン!
なっ!?

何だァ〜〜っ!?
こ…こいつ…
何かが……
パンパンに張ってる何かが空中に突き刺さって
見えなくて…
ぼくの腕と首を空中に…はりつけにしているぞ!
こ…こいつ人を襲うのかッ!
なんなんだこの生き物はッ!!
パ…
パパがどんどん上がって来るッ! ま…まずいッ!
ム!

うわーっ
うげっ

今の音は……
屋根裏部屋だ……
何〜〜〜ッ!!
やはりあの小僧!

なんなんだ
こいつは…!?
窓を閉めようとすると
攻撃してくるぞ…
太陽の光で
動くのかッ!
ドドド
ドドド
そして
空気のかたまりの
ような物を
出す
こんな物を
飼ってるパパは
一体 何物なんだ
しかし
今の音 絶対
下に聞こえたぞ
…どうする?
どうやって
この場を
脱出する!?
コ…
そ…
そうだッ!
ドス
ドス
ドス
コンパスの
「針」!
これが
空気のかたまり
なら!

ドドドスドス！
やったッ！
やっぱり
太陽の光だッ…
パッ
ムー
ドスドス！

パタム
この「キャットフード」は……
きっとこの生き物のエサだったんだ…!!

「キャットフード」‼
…

「ストレイ・キャット」のやつ…
ここはかすかに光が入っているのか
しかし…
もし あの小僧がわたしの事に気づいたのなら

■さなくてはならないところだった……
パパの■をしているけど……
パ・パ・パ・じゃあ・ない
あいつはうちのパパじゃあない
だ……
TO BE CONTINUED

鉄管に住もう その
むう
わああ
あああ

鉄塔に住もう
その1

やあ 仗助くんに 億泰くん
おっ おめーかよッ! 未起隆 おどかすなア!
てめーっ イキナリ「靴の形」で 現れるなッ! スゲー 心臓に悪いぞ コラアーっ
イヤー それほどでも
照れんな! ほめて ねーぞ
だが そうだ いいトコで 会ったぜ! オメーに どーしても ハッキリきかせたい 事があっ たんだ
「宇宙人」つうのは ウソなんだよ なアーっ?
オメー「宇宙人だと 思い込んでる」 スタンド使い なんだよなーっ?
あいまいに してねーで ハッキリしろ コラ!
……
最初カラ ハッキリシテイマス ワタシハ 宇宙人 デス
何で 急に カタカナで しゃべってんだよ てめー 言い張るのか
もしもし 宇宙船の コンピュータ 異常は ないですか? 応答せよ
腕時計と お話するのは やめろ! テメーッ
もういいよ それより こんな 道ばたで 靴なんかに化けて 何やってたんだ?

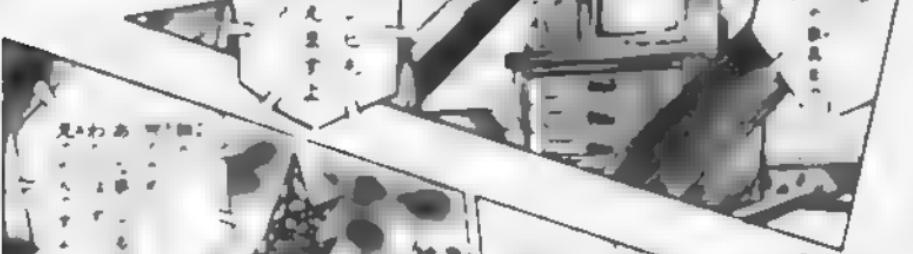
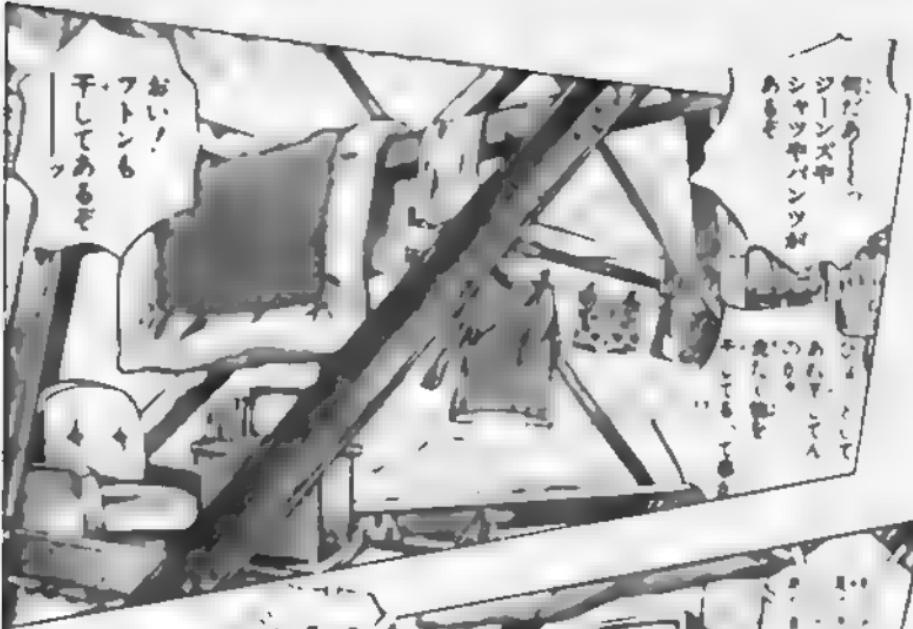
そうそう

ああ……

「ケーブル」は
地下に埋められて
いらなくなったんだ

「あの鉄塔」の
真ん中あたりから
が出てますよね？

おい!!
あれ!!

おいっ おいッ！ ヤカンだよッ！
お湯を沸かしています たき木を燃やしているんです
なんだよ!? ありゃあ〜〜〜〜っ!?
あんなところで？ 地上20メートルぐらいあるぞッ！
もうちょっと上
5メートルくらい上を見てもらえますか？
あれ〜〜っ

ジーンズやシャツやパンツがあるぞ
おい！フトンも干してあるぞーーーッ
テレビも見えますよ
ちょっ ちょっと オレにも見せろッ
わたしは
あははははは はははははは

パシィィイ!
あっ!

ズル
ボキッ

おっ！
あ ソファーとテーブルのところへ行って食事にうつる気なんだ
「男」が立ち上がったぞ
男が起き上がったようだ
鉄柱を歩き始めたぞ
でも あぶねーな！……
慣れてんのかもしれないけれど
もし バランス崩して落っこったらどうする気なんだよ～～～！
なっ 何イ——ッ!!
し…翔んだッ！
パッ

え!!?

ドッドッ…

あ…
あいつっ…
ス…
あいつ『スタンド使い』だぞ!!
あーゆー変わった事するヤツはもしかしてと疑ったが
「新手のスタンド使い」だ!
確かに今魔法のじゅうたん乗るように柱のボルトピンに乗って飛んだぞ!
ああ!今…確かに飛んだぜーッ

ゴゴゴゴ
でも あんなトコで何やってんだ？「スタンド使い」があんなトコで生活して何やってんだ？
どうやらあの男……もっと調べてみる必要があるようですね？
ゴゴ
ゴゴゴゴ
見える見える……
やっと来たか……
アアアアア
このわたしに興味を持ったかなの？おいでよ久しぶりに他人とお話ができる……

■ジャンプ・コミックス

ジョジョの奇妙な冒険

42猫は吉良吉影が好きの巻

1995年5月16日　第1刷発行

著　者　荒木飛呂彦

編　集　ホーム社
東京都千代田区一ツ橋2丁目5番10号
〒101-50　電話　東京　03(5211)2651

発行人　後藤広喜

発行所　株式会社　集英社
東京都千代田区一ツ橋2丁目5番10号
〒101-50
電話　東京　03(3230)6235(編集)
03(3230)6191(販売)
03(3230)6076(制作)
Printed in Japan

印刷所　株式会社　美松堂
中央精版印刷株式会社

ISBN4-08-851892-6　C9979